

<h1>府高教情報</h1>	No.2	2010年5月18日(火)	大阪府立高等学校 教職員組合調査部
----------------	------	---------------	----------------------

5月14日(金)の教育委員会会議で 2011年度大阪府公立高校等入学者選抜方針が決定 さらなる入試の多様化で受検生や中学の 進路指導に大きな影響が出ることは必至

■文理学科の入学者選抜

- (1)対象校：北野、豊中、茨木、大手前、四條畷、高津、天王寺、生野、三国丘、岸和田（通学区域は府内全域）
- (2)選抜の時期：前期入学者選抜の一部として実施
- (3)選抜の資料：学力検査、小論文、調査書

学力検査				調査書								
国	数	英	小論文	国	数	英	社	理	音	美	保体	技
100	120	120	20	15	15	15	30	30	15	15	15	15

■センター附属研究校の入学者選抜

- (1)対象校：教育センター附属研究学校（仮称。現 大和川高校）（通学区域は府内全域）
- (2)選抜の時期：前期入学者選抜と同時期
- (3)選抜の資料：学力検査、情報活用力検査、集団討論、調査書

学力検査				情報活 力検査	集団 討 論	調査書							
国	数	英	英検		国	数	英	社	理	音	美	保体	技
50	50	50	100	三段階評価	15	15	15	25	25	25	25	25	25

- 「情報活用力検査」
 - ・提示された文章や資料から情報を読み取り、文章で要約する問題や資料に対する意見を記述する問題
 - ・検査時間は60分程度
- 「集団討論」
 - ・提示されたテーマに基づき、5人程度のグループで討論
 - ・討論時間は20分程度

■連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

- (1)対象校：柏原東高校（予定）、能勢高校
- (2)選抜の時期：前期入学者選抜と同時期
- (3)選抜の資料：調査書、小論文、面接

■普通科総合選択制の入学者選抜

- (1)選抜の時期：後期入学選抜に移行
- (2)選抜の資料：学力検査（配点を変更）、調査書
面接は廃止

教科	国	社	数	理	英	合計
配点	50	50	50	50	50	350

得点の高い2教科の得点を2倍する



教科	国	社	数	理	英	合計
配点	80	80	80	80	80	480

得点の高い2教科の得点を1.5倍する

■体育科の入学者選抜

- (1)対象校：摂津高校（予定）、大塚高校、大阪市立桜宮高校、大阪市立汎愛高校（通学区域は府内全域）
- (2)選抜の時期：前期入学者選抜の一部として実施
- (3)選抜の資料：学力検査、実技検査、調査書

○昨年度までの配点

学力検査			実技検査		調査書								
国	数	英	運動能力	運動技能	国	数	英	社	理	音	美	保体	技
50	50	50	30	70	20	20	20	20	20	20	20	20	20

※学力検査等の配点については、今後決定

○運動能力に関する検査

- ①50m走 ②走り幅跳び ③ハンドボール投げ ④垂直跳び ⑤懸垂腕屈伸(男子)、斜め懸垂腕屈伸(女子)の中から、当日3種目を指定し、受検させる。

○運動技能に関する検査

- ①器械運動 ②陸上競技 ③水泳 ④球技 ⑤武道 ⑥ダンス ⑦その他 の各検査領域において、学校が設定した種目の中から1種目を出願時に選択させ、受検させる。

◆普通科総合選択制が後期入試に移ることによって、前期入試の受け入れ比率が2009年度入試の42%から33%へ減少するとしています。また、面接が廃止されたことは、公平性・客観性を保つ困難さなどを指摘する実施校からの声が反映されたものです。

◆入学者選抜にあたって「総合学科」「文理学科」などで実施されている、または予定されている「小論文」は中学校での学習内容を超えるものであり、中学生にとっては大きな負担となります。再考されるべき選抜資料です。

◆「センター附属研究校」は「大阪の教育課題解決のモデルとなる学校」という理念を持っている限り、「情報活用力検査」や「集団面接」等で、ある「学力」が秀でている生徒を選抜する方式でなく、標準的な入試方法で選抜を行うべきです。

◆「小論文」「集団討論」は、客観性・公平性を担保するには困難な選抜方法なので、見直しが必要です。